

編者・執筆者紹介

(① 現職・専攻, ② ひとつことメッセージ)

【編者】

上田 道明 (うへだ みちあき) はじめに・第7章・第11章・第12章・第13章

- ① 佛科大学社会学部教授, 政治学・地方自治論
- ② 政治学と出会った学生のころ, 「政治」とは首相の言動や国会での与野党の攻防など, 要するに「国政」のことでした。それが, いつの間にか地方自治のファンに。地方自治の面白さが少しでも表現できていれば, というのが編者としての願いなのですが, どうだったのでしょうか?

【執筆者】

栗本 裕見 (くりもと ゆみ)

第1章・第2章・第10章

- ① 大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員, 地域自治・NPO論
- ② 今まで, 地域のコミュニティやNPOなどで頑張る人をたずね歩いてきました。相手は元気でアイデアいっぱい。私は人見知りでヘタレ, 緊張でおたおた。「自分には向いてない研究テーマだ」と思うことも。みなさんの「私じゃムリ。でも気になる～」は何ですか? 意外に長く付き合うことになるかも。ぜひ探してみてください。

桑原 武志 (くわはら たけし)

第3章・第8章

- ① 大阪経済大学経済学部准教授, 都市政治経済・中小企業政策
- ② わたしたちが生活する社会には, みなさんが知らない多くのものごとや問題が存在しています。まずはそれらに関心を持ち, インターネットや文献で調べ, 大学の先生に聞いたりしてより深く学びましょう。大事なことは, ものごとを見るときに批判的精神を忘れないこと, 自分自身の考えを持つことです。そうして一歩踏み出してみましょう。

大西 弘子 (おおにし ひろこ)

第4章・第9章・第17章

- ① 近畿大学全学共通教育機構講師, 政治学・規範理論
- ② このテキストを読むときには, 半分は素直に, もう半分は“あまのじゃく”になってもらえると嬉しいです。筆者たちのいいたいことに耳を傾けつつ, でも, ホントかな

と思ったときは検索してみる、納得できないときには反論を立ててみるというように、ぜひ“攻める”読み方をしてみてください。

柏原 誠 (かしはら まこと)

第5章・第14章・第18章

- ① 大阪経済大学経済学部准教授，行政学・地方自治論
- ② 地方自治は，地域を暮らしやすい場所にするためのリアルな営み。各章の事例をきっかけに，地域の課題をどのように解決し，未来を創っていくか考えてみてほしい。

水谷 利亮 (みずたに りあき)

第6章・第19章

- ① 下関市立大学経済学部教授，行政学・地方自治論
- ② 国の政府は，国民や地域に無理を押しつけることがあります。私は環境や地域文化の豊かな沖縄が好きですが，沖縄の自治体が国による「美ら海」埋め立て工事に対し抑制機能を発揮しようと悪戦苦闘しています。わたしたちが他地域の自治の取り組みにもっと関心を持つことは，日本社会を少し優しくする方法の1つだと思っています。

平岡 和久 (ひらおか かずひさ)

第15章・第16章

- ① 立命館大学政策科学部教授，財政学・地方財政論
- ② 財政は目的ではなく，手段にすぎません。しかし，「善い地域」，「善い自治体」を実現するためには財政の役割が決定的に重要です。本書が，みなさんの自治体財政への関心を深めるきっかけになれば望外の喜びです。